

.....

.....

.....

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

1

1 1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	車庫の 2 階に保管しているタイヤを降ろす。	電動クレーン使用。
経過 2	当事者 A	4 本のタイヤを車庫内の G L に立て掛けていた。	1 8 5 / 7 0 R 1 4 (4 本)
経過 3	当事者 A ・当事者 B	車両タイヤの脱着作業を始める。	ジャッキで車両を持ち上げ。
経過 4	当事者 A ・当事者 B	後輪 2 本のタイヤを離脱完了。	1 0 分間程度の時間を要した。
経過 5	関係者	タイヤが車庫内より転げ出た連絡を受ける。	
経過 6	当事者 A ・当事者 B	タイヤを確認すれど車庫内に全て無し。	4 本とも無し。
経過 7	当事者 A	4 本のタイヤを回収に回る。(5 3 m 先)	1 本は歩道上に確認。
経過 8	当事者 A	”(4 2 m 先)	1 本は橋上に確認。
経過 9	当事者 A	”(4 0 m 先)	2 本は花壇前に確認。
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。その他：歩行者・車両等が居なかったため事故に繋がるらなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	いいえ
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：G Lの角度（傾斜）に気がつかなかった。
